

※ 今週のアウトLOOK (2/10~2/14)

先週は、週初めからドルの買い戻しが優勢となりました。新型肺炎リスクも一段落したのでは、という見方が少し強くなっているようです。

金曜日に発表された米国雇用統計は予想を上回る好結果でしたが、逆に利下げ予想が浮上し、ドル売りが優勢となり、そのままNY市場を終了しています。

今週は、米国雇用統計の好結果からのドル売りを、週明けの東京市場がどのように捉えるか、新型肺炎リスクはまだ続くという見方が再浮上してくるのか、このあたりがまずはポイントとなりそうです。

先週のドル円は週初めからドルの買い戻しが進みましたが、米雇用統計の結果が好結果だったにもかかわらず、利下げ予測の浮上などから発表後にドル売りが進みました。

今週はこのドル売りがどのあたりまで進むのか、下げ止まった後は再びドル買いが進むのかが、まずはポイントとなりそうですが、しばらくは判断が難しい状況が続くのではと考えています。

ドル円の予想レンジは 108.5 円から 110.5 円です。

先週のユーロは、ユーロドル売りが優勢となり、1.095 付近まで達しています。

このラインが完全に破られてしまった場合には、1.09 まで下落する可能性が高まります。

今週は、ユーロドルの 1.095 と 1.09 のサポートラインが守られるかどうかポイントとなりそうです。破られてしまった場合にはユーロ円も 119.5 円付近のサポートラインを割って、下落トレンド入りする可能性が高まります。

ユーロ円の予想レンジは 117 円から 121 円です。

ポンド円は相変わらず、狭いレンジでの動きとなっています。

今週も何もなければこのレンジに留まる可能性が高そうです。

ポンド円の予想レンジは 141 円から 145 円です。

中国の新型肺炎と米国の季節性インフルエンザが、罹患者、死亡者ともに増え続け、リスク要因が拡大しています。経済への影響は限定的という判断が市場では一度はされたようですが、再燃する可能性はいかがなものでしょうか。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。